

## 2月の校長室より その2－春を知らせる梅の香り－

### 梅が香に日の出が射抜く校舎かな

立春は過ぎましたがまだ風は冷たく、本当の春にはまだ遠いようです。寒さに怯むひるような思いで過ごす春の初めの頃ですが、春の到来を知らせるといふ梅の花、校庭の白梅は1月の初旬に、紅梅は中旬には、ちらほらと咲き始め、立春を過ぎた現在では満開となり、日の出前の暗い闇の中でも梅のありかがわかるほど清らかな香りを漂わせています。

### 瑠璃色と教えし見童に犬ふぐり

校庭の体育倉庫の裏手に小さな野原があります。早春のこの季節、地面をおおうように草の緑の葉が広がり、その中に鮮やかな瑠璃色の花をつけた「犬のふぐり」が愛らしく野を染めています。草花とはいえこの美しい光景を1年生の児童たちと見ることができ、もう春がやってきたんだなあと感じる昼休みになりました。

